

人材育成の基本的な考え方に基づく研修体系の構築に向けた検討について

1 これまでの取組

人材育成のための意見交換会（以下、「意見交換会」という。）では、全ての子どもにとって質の高い幼児教育・保育を提供できるよう、「幼稚園教諭・保育士等の人材育成の基本的な考え方」（以下、「基本的な考え方」という。）を作成し、本市の幼稚園教諭・保育士等の人材育成の方向性として、目指す保育者の姿、キャリアステージ、基盤となる資質・能力、研修の考え方について取りまとめた。また、幼稚園教諭・保育士等が成長し続けることができるよう、各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等が身に付けるべき資質・能力（以下、「各キャリアステージにおいて必要となる力」という。）を整理した。

2 研修体系の構築

各団体において実施している研修を各キャリアステージにおいて必要となる力に合わせて整理してみると、団体ごとにその内容や量が異なる状況にある。

こうした状況も踏まえながら、基本的な考え方に基づき、全ての幼稚園教諭・保育士等が、成長の段階ごとに必要となる資質・能力を身に付け、質の高い幼児教育・保育を実践することができるよう、個々の実情に応じた研修を継続的に受けられる体系を構築していく必要がある。

3 令和4年度の検討内容（案）

研修体系の構築に当たっては、幼稚園教諭・保育士等が、所属する園等に影響されることなく、必要な研修を受講できるよう、同一の研修体系としていくことが望ましい。

一方で、各団体の研修は、実施手法や内容、実施に至った経緯等、各団体の事情に応じて実施されている。また、幼稚園教諭・保育士等が同一の研修を受けるに当たっては、幼稚園・保育園等が行っている教育・保育内容に対する相互理解も必要になる。こうしたことを踏まえると、早急に、本市や各団体で実施している研修体系を整理し、同一の研修体系を構築することは困難である。

このため、まずは、以下の取組を検討することについて意見交換を行いたい。

(1) 各団体が実施する研修への相互参加

幼稚園教諭・保育士等が、学びたい内容や業務の都合等に応じて受講できるよう、各団体が行っている研修の一部について、段階的に相互参加できる方法を検討する。

(2) 類似した研修の合同実施

各キャリアステージにおいて必要となる力を踏まえ、新たに必要となる研修を実施する場合などに、類似した研修について、複数の団体による合同実施を検討する。